鳥海讃歌

ＧＴＨ通信　第４６号　　令和３年７月１日（木）
校長室より

非日常の体験を日常に活かす！

第４０回全校鳥海登山は、６月２８日（月）秋田さきがけ新報に大きく報じられ、全本校の教育活動が県に紹介されました。コロナ禍で再開された本校教育活動のあるべき姿が伝統行事は、多くの方々の御支援御協力によって成し遂げることができました。ありがとうございました。

昨日は、吹奏楽部、野球部の壮行会がありました。吹奏楽部は、７月４日（日）に由利本荘市の流館ダムで中央地区大会、野球部は１１日（日）秋田市きさがバッティングフェスタで秋田南高校と対戦します。
吹奏楽部は、５月頑張って練習した成果を胸に、精一杯吹奏します。同じ会場で、仁賀保高校吹奏楽部の誇りを胸に、丸一日頑張ってください。
野球部は、５月末の中央大会に向けて、１年生中心の部員で戦います。対戦相手とは単独チームで挑んでくださいます。課題を明確に球場に駆けつけて仁賀保高校応援団を結成します。３年生にとっては、天王山の生徒会長選挙に向けて、明日から期末考査が始まります。７月を乗り切りましょう。
のターニングポイントです。気持ちを切り替え、多くの人が求めて、公開されます。就職戦線も本格的にスタートします。

今回の登山は、経験豊かな山岳ボランティアに加入した医療従事者、観光協会、「わくばらかほ」のスタッフ、市職員、予想を超えた大勢のボランティアで大きな力となった女性会員、雪渓の安全確認と安心が保障されました。皆様、本荘市の女性会員、足下確保や登山道の整備に皆様、本荘市のボランティアの皆様、皆様のおかげで、無事に下山できました。

目標にむかって日常生活を送る感覚にとらわれた生徒諸君は、日常生活とは異なる環境に身を置き、特に切羽詰まった状況や自由が利かない状況を設定します。このような状況の意図的な設定が、人間の潜在能力を開花させると考えます。

仁高生諸君は、貴重な非日常体験である鳥海登山を心に刻みました。これにより、あらゆる制限や規制を乗り越えて、最大限のパフォーマンスを引き出す方法を、すでに感覚として備えています。全校鳥海登山で感じ、学び取った非日常の心構えやスキルを、「期末考査」という非日常体験に駆使し、全力で勝負してください。生徒諸君の健闘を祈ります。

★　**アイコンタクト（ｉｃｏｎｔａｃｔ３）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　**メモ**をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　**意識力**＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　**ＧＴＨ**は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　**「自己有用感」**を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか？
自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です！
★　**ＮＰＴ**は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、**Trial＆Error**で進めましょう！
★　**「自分事」「当事者意識」**を持って取り組む仁高生に変身しましょう！